

## 韓国における保健教育に関する教育課程

	初等教育		前期中等教育
学年	第1・2学年	第3～6学年	第7～9学年
教科名 (必修・選択)	道徳と社会を統合した「正しい生活」、自然と家庭科を統合した「賢い生活」、音楽と美術・体育を統合した「楽しい生活」の各科目、創意的体験活動の時間において行われている。(いずれも必修)	保健教育は体育や実科などの各教科や創意的体験活動の時間を活用して行われている。(いずれも必修)	中学校では、選択科目としての保健(選択)があるが、主には、体育科(必修)、実科(必修)において扱われている。
(1)教科全体の役割 (2)保健領域・教科のねらい	正しい生活:(1)児童が「今—この場所—私達の生き方」を持続的に省察する中で具体的な状況の中で正しい生き方を実践できるように支える「実践経験中心教科」である。(2)共同体の構成員として「今—この場所—私達の生き方」の問題を省察し実践する。 賢い生活:(1)児童が「今—この場所—私達の生き方」に関心をもち、積極的に探究する中で、自身が生きている世界を経験する「探究活動中心教科」である。(2)「今—この場所—私達の生き方」に持続的に関心を持ち探究する。 楽しい生活:(1)児童が遊びを通して「今—この場所—私達の生き方」の楽しさを享受する「遊び経験中心教科」である。(2)遊びをしながら「今—この場所—私達の生き方」を楽しむ。	体育:(1)学習者が一生涯にわたり体力と健康、動きに対する技能と知識、多様な身体活動に参加しようとする意思と態度を育て、積極的に身体活動に参加し、身体活動文化を深く理解し、実践することで健康で活気に満ちた生き方を生活化し、他人及び世界とコミュニケーションをとり、望ましい民主市民として成長できるようにする。(2)活動的で創意的な生き方、健康で主導的生き方、身体活動文化を享有し、社会の中で望ましく、共に生きていく生き方を営むことができる、身体活動力量を育てることを目標とする。 実科:(1)個人と家族が日常生活で家族はもちろん友達や隣人をはじめとする多様なレベルの生活環境と健康な関係を形成し、人生を主導していくことに必要な生活力量の涵養を目指す。(2)実科では、教科の知識、遂行力量、価値及び態度を涵養し、生活の中で問題を探究し、問題解決の結果が個人と社会に及ぼす影響を認識し、家庭生活、技術及び情報素養を基に主導的な生き方を営むことができるようにする。	体育: 左に同じ。 実科: 左に同じ 保健:(1)保健科は、体と心に対する理解を高め、健康生活を實踐し、互いに協力し個人と共同体の健康と生活の質を向上するための科目である。初等学校で習得した健康生活習慣を強化する一方で、体と心に対する理解と尊重を学び、健康知識と技術、情報、資源に基づいた健康生活を實踐できるようにする。(2)健康の価値と概念、知識に基づき、体と心に関する理解と健康管理能力を高め、日常生活において健康生活を實踐し、個人と共同体の健康増進に寄与し、急変する環境に創意的に対応し健康力量を涵養し、健康志向的な環境を追求し生活の質を高める。
内容(●領域: 「単元」)	<b>正しい生活(一部抜粋)</b> ●私達は誰として生きていくのか:「学校生活習慣と学習習慣」「安全で健康な生活」「自己尊重」、●私達はどこで生きていくのか:「共同体の生活」「多様性の尊重」、●私達は今どのように生きていくのか:「持続可能な生き方」「一日の生活の管理」、●私達は何をして生きていくのか:「みんなのための生活環境」「生活習慣」 <b>賢い生活(一部抜粋)</b> ●私達は誰として生きていくのか:「学校内外の姿と生活」「自己認識」「安全な学校生活」、●私達はどこで生きていくのか:「地域の様子と生活」「国の様子と生活」、●私達は今どのように生きていくのか:「一日の変化と生活」「季節と生活」、●私達は何をして生きていくのか:「生活の道具の様子と技能」「多様な媒体と材料」 <b>楽しい生活(一部抜粋)</b> ●私達は誰として生きていくのか:「健康と安全」「身体認識と感覚」、●私達はどこで生きていくのか:「韓国の文化芸術」「外国の文化芸術」、●私達は今どのように生きていくのか:「自然の変化」「児童の権利」、●私達は何をして生きていくのか:「考えと感想」「遊ぶこと」	<b>体育(3～4年生) 例示</b> ●運動:「基本体力運動」「健康運動及び生活習慣」、●スポーツ:「基本の動きの基礎技術」「スポーツ種類別の動きの技術」、●表現:「基本の動きの基礎表現」「基本の動きの表現方法」 <b>体育(5～6年生) 例示</b> ●運動:「健康体力及び運動体力」「成長及び安全活動健」、●スポーツ:「技術型スポーツの種類別活動」「戦略型スポーツの種類別活動」「生態型スポーツの種類別活動」、●表現:「スポーツ表現活動」「伝統表現活動」「現代表現活動」 <b>実科(5～6年生)(一部抜粋)</b> ●人間発達と主導的な生き方:「発達と自己理解」「自立的な日常生活」「バランスの取れた食事」、●生活環境と持続可能な選択:「生活資源の特徴」「食材料の生産と選択」「食べ物準備と接種」	<b>体育</b> ●運動:「体力増進」「体力管理」「運動処方」「身体健康活動」「精神健康活動」「社会的健康活動」、●スポーツ:「動作型スポーツ」「記録型スポーツ」「闘技型スポーツ」「領域型スポーツ」「フィールド型スポーツ」「ネット型スポーツ」「生活環境型スポーツ」「自然環境型スポーツ」、●表現:「スポーツ表現」「伝統表現」「現代表現」 <b>実科(一部抜粋)</b> ●人間発達と主導的な生き方:「青年期の発達と自己アイデンティティ」「栄養と青少年の食生活」「ニューノーマル時代の家族文化」、●生活環境と持続可能な選択:「生活資源の循環過程」「食品選択と食生活の安全」「食事計画と調理原理」 <b>保健</b> ●健康増進と疾病予防:「健康の連続性と恒常性」「体と心の理解」「自分と共同体の健康増進」、●情緒と精神健康:「情緒と精神健康」「幸福と安全」「薬物、中毒、情緒と精神健康問題の予防」、●性と健康:性の健康と個人と家族の幸福」「社会的脈絡を踏まえたバランスの取れた性的理解」、●健康安全と応急処置:「安全に対する感受性」「事故と疾病への対処」、●健康資源と健康文化:「健康文化と健康の相互作用」「健康情報と健康資源の活用」「個人と共同体の健康」

後期中等教育			
学年	第1学年	第2学年	第3学年
教科 (必修・選択)	体育(必修), 保健(選択)		
(1)教科全体の 役割 (2)保健領域・教 科のねらい	<p><b>体育</b>  (1)活動的で創意的な生き方、健康で主導的生き方、身体活動文化を享有し社会の中で望ましく共に生きていく生き方を営むことができる、身体活動力量の持続的な発達のために初・中学校&lt;体育&gt;で学習した内容をさらに深化させ学習する。(2)健康を体系的に管理する生活方法を習慣化し、戦略型スポーツと生態型スポーツを生活の中で持続し、実践することで健康問題を主導的に改善し、スポーツ親和的で活動的な生き方を送れるようにする。</p> <p><b>保健</b>  (1)中学校で習得した健康に対する価値、知識、態度、技術及び力量を強化する一方で、健康の影響要因と健康情報及資源を分析し、評価し、健康増進と疾病予防の個人的、社会的実践を探索する。(2)体と心に対する理解を高め、健康生活を実践し、互いに協力し、個人と共同体の健康と生き方の質を向上させる。</p>		
教科名と必修・ 選択	体育1,体育2(必修), 保健(選択)		
目標	<p><b>体育1</b>  活動的で創意的な生き方、健康で主導的生き方、身体活動文化を享有する生き方を営むするために必要な身体活動領域を深化し、健康を管理し、スポーツを生活化し、生態感受性を涵養することを目標とする。</p> <p><b>体育2</b>  活動的で創意的な生き方、健康で主導的生き方、身体活動文化を享有する生き方を営むために必要な身体活動領域を深化し、体力増進と身体的秀越性の追求に必要な資質を涵養することを目標とする。</p> <p><b>保健</b>  健康の価値と多様な概念、体と心に対する均衡のとれた知識と態度、技術を発展させる一方で、健康の影響要因を考慮し、日常生活を幸福で健康に管理できる。これを基に健康安全を脅かす健康問題状況において、健康生活技術と健康資源、情報を柔軟に活用し、健康問題を解決し、疾病状態でも友人と家族、共同体と共に健康に生き、安全に対処できる。さらに、個人と共同体の健康増進に寄与し、急変する環境と未来世代の健康問題に創意的に対応し、共感的理解力、協力的コミュニケーション等を基に健康を擁護し、健康志向的な環境を追求し包容性、総合性、市民性を備え、生活の質を高める。</p>		
内容「単元」	<p><b>体育1 例示</b>  ●健康管理:「疾病管理及び公衆保健活動」「食物管理活動」「薬物の誤・乱用、飲酒、喫煙予防活動」など、●戦略型スポーツ:「領域型スポーツ」「ネット型スポーツ」「フィールド型スポーツ」、●生態型スポーツ:「生活環境型スポーツ」「自然環境型スポーツ」、</p> <p><b>体育2 例示</b>  ●体力増進:「筋力及び筋持久力運動」「心配持久力運動」など、●技術型スポーツ:「動作型スポーツ」「記録型スポーツ」「闘技型スポーツ」、●表現:「スポーツ表現」「伝統表現」「現代表現」</p> <p><b>保健</b>  ●健康増進と疾病予防:「健康と健康増進」「信号と生活周期」「疾病予防と健康生活技」「健康理解」「健康探究」「実践適用」、●情緒と精神健康:「中毒と健康」「情緒・精神健康」「概念理解、健康探究、実践適用」、●性と健康:「性と発達」「愛、権利と責任」「性文化と性的リスク」「健康理解、実践適用」、●健康安全と応急処置:「健康安全」「事故予防、応急処置」「健康理解」「健康探究、実践適用」、●健康資源と健康文化:「健康権と健康資源」「健康文化」「健康理解、健康探究、実践適用」</p>		

参考：韓国教育部（2022）『2022改訂教育課程』